

基本要素1	栄養・食生活
取組方針	1 適切な量と質の食事をとる人を増やします 2 適正体重を維持している人を増やします 3 健康な生活習慣(栄養・食生活)を身に付けている青少年を増やします 4 適正体重の子どもを増やします 5 低栄養傾向にある高齢者を減らします

資料4-1
平成29年(2017年)9月6日
札幌市健康づくり推進協議会

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当				
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部
栄養・食生活	1	食育推進会議	「札幌市食育推進会議」では、食育推進計画の策定、その進捗に関すること等を審議しています。委員は、学識経験者、食に関係する団体の代表者、市民委員で構成されています。(保)保健所	1,2,3,4,5	会議開催数	1	1	1	1			第2次札幌市食育推進計画	1	各年	(保)	保健所	健康企画課		
	2	食生活指針の啓発事業	「健康」分野に加えて、「地産地消」や「環境に配慮する食生活」などの「食育」の観点を取り入れた「札幌市食生活指針」の普及・啓発に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター	1,2,3,4,5	啓発回数	575	516	499	755			第2次札幌市食育推進計画			(保)	保健所	健康企画課		
					啓発人数	7,619	7,736	7,028	8,736			12,000	各年						
	3	野菜摂取強化事業	市民に野菜摂取の喚起を図ることを目的として、8月を野菜摂取強化月間、「毎月、『1日』は、野菜の日」と定め、市内の給食施設やボランティア団体、野菜販売店・大型スーパー等と連携し、普及啓発等に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター	1,3	啓発回数	2,218	2,835	2,883	2,480						(保)	保健所	健康企画課		
					啓発人数	45,934	51,899	58,322	48,730										
	4	栄養相談と栄養講習会	管理栄養士が個人々に応じた適正な食生活を支援するための個別の栄養相談と、離乳食などの子どもの食生活に関する講習会や糖尿病などの生活習慣病を予防するために食生活について学ぶ栄養講習会を実施しています。(保)保健所、各区保健センター	1,2,3,4,5	個別栄養相談人数	37,983	38,265	38,340	36,992	本気めしプロジェクト 対象:高校生、大学生、専門学校生、20代の若い世代 毎日朝食をとる中・高校生、20歳代男性の割合を増やす、野菜の一日当たり平均摂取量を増やすことを目的として実施(各区保健センター)	実施回数:15回、参加人数:336人 事業実施後アンケートでは、78.9%の人が「朝食を食べる回数を(できるだけ)増やそうと思う」と回答、また、83.7%の人が「野菜を食べる回数を増やそうと思う」と回答し、意識の改善につながる効果が得られた。(各区保健センター)					(保)	保健所	健康企画課	
					栄養講習会	実施回数	1,367	1,358	1,421										1,387
						参加者数	44,572	44,023	46,881	46,059									
	5	健康教育	生活習慣病の予防、健康増進等に関して管理栄養士が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	1,2,5	健康教育(栄養・食生活)	実施回数	316	310	310	286	地域住民アンケート協力者数:720人 健康教育後、「主食・主菜・副菜を揃える」「1日3食食べる」「毎食野菜を食べる」について、「食べようと思う」、「できるだけ食べようと思う」と回答した人が97%を超えていた。(各区保健センター)					(保)	保健所	健康企画課	
参加者数						7,487	7,699	7,613	6,219										
6	特定給食施設指導	市内の※特定(多数)給食施設である病院、事業所、幼稚園等の約600施設の施設管理者等に対して、保健所の栄養指導員が栄養管理指導を行うとともに、健康づくりに係る啓発事業を行っています。(保)保健所 ※特定(多数)給食施設とは、特定かつ多数の人に対して1回50食以上、または1日100食以上継続して給食を提供している施設	1,2,3,4,5	指導回数	628	637	637	644							(保)	保健所	健康企画課		
				指導施設数	648	796	751	766											
7	外食・加工食品の栄養成分表示普及事業	市民自らが健康づくりを行うために外食や加工食品の栄養成分表示により、適正な情報提供を行うことが必要となっています。表示を普及させるために関係業者に対し、表示の普及啓発と方法等の指導を行っています。また、市民に対しては、表示された栄養成分の理解促進に向けた啓発事業を行っています。(保)保健所、各区保健センター	1,2,3,4,5	栄養成分表示の店登録数	1,592	1,632	1,628	1,671	ヘルシーメニューモニター事業(働く世代への食生活支援事業) 事業所給食において、ヘルシーランチを利用し、望ましい食生活や健康についての情報提供を受けることで、適正体重を知り、それに近づけるための体重管理を実践する人を増やすことを目的に実施(保健所)	実施事業所:5施設 参加者:50名 実施前後に行ったアンケートでは、事業開始前より開始後に毎日体重を量る人、週に数回程度量る人の割合が増加。特に減量に成功したグループでは体重を量る人が大幅に増加した。(保健所)		第2次札幌市食育推進計画	3,000	H29年度	(保)	保健所	健康企画課		
				加工食品等指導・相談件数	71	80	72	208											
				啓発人数	3,468	4,986	5,954	5,276											
8	ここから健康づくり応援団(札幌市栄養成分表示の店)	「ここから健康づくり応援団」では、エネルギーなどの栄養成分表示を継続して3メニュー以上実施している外食料理店等を栄養成分表示の店として登録し、ステッカーを配付するとともに、ホームページ「食育情報」に店舗名等を掲載しています。(保)保健所	1,2,3,4,5	登録店舗数	1,592	1,632	1,628	1,671			第2次札幌市食育推進計画	3,000	平成29年度	(保)	保健所	健康企画課			
9	ヘルシーメニュー事業	市民が栄養に配慮した食事を選択できるよう、「栄養成分表示の店」推進事業の一環として、ヘルシーメニューを提供する外食料理店を増やす等、食環境整備に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター	1,2,3,4,5	ヘルシーメニュー提供店舗数	10	26	21	39						(保)	保健所	健康企画課			

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課
栄養・食生活	10	エコクッキングの推進	健康と環境に配慮した食生活を進めるために、「エコクッキング」の普及啓発を行っています。(保)保健所、各区保健センター)	1,3	エコクッキング啓発回数	480	661	596	528	環境局と連携し、「日曜日は冷蔵庫のお片づけ」パンフレットを各区保健センターで配布。環境にやさしい食生活について普及啓発した(保健所、各区保健センター)		第2次札幌市食育推進計画	450	各年	(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	27,384	24,358	23,092	12,952									
	11	親子料理教室	幼稚園児・小・中学生とその保護者を対象として、親子が健康づくりのための食生活を学ぶ料理教室を、学校等で行っています。(各区保健センター)	3,4	開催回数	36	39	37	28			第2次札幌市食育推進計画	増やす		(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	966	937	1,140	881									
	12	妊産婦料理教室	妊産婦とその配偶者を対象に、妊娠中や産後の食生活の重要性を普及啓発するとともに、生活習慣病を予防する食生活について学ぶ料理教室を実施しています。(各区保健センター)	1,2,3,4	開催回数	58	52	50	45		参加者のアンケート結果では、今後の食生活で「朝食、野菜、牛乳・乳製品」について、「毎食食べる」、「回数を増やす」と回答した人が97%を超えていた。(各区保健センター)				(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	664	522	470	350									
	13	男性の料理教室	健康に関する食生活を学びながら調理の実践を促し、地域の自主活動グループ等へ参画していくことを目的として、「男性の料理教室」の開催や、男性料理グループの活動支援等を行っています。(各区保健センター)	1,2,3,4,5	開催・支援回数	102	99	114	80			第2次札幌市食育推進計画	120	各年	(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	1,218	1,051	1,239	748									
	14	健康料理フェスティバル	健康的でバランスの良い食生活を進めるために、札幌市調理師団体連合会との共催により、市内のホテルを会場として、年1回、健康料理フェスティバルを開催しています。(保)保健所)	1,2,5	実施回数	1	1	1	1	食事と運動についての講演を実施。(保健所)	参加者:126名 実施後のアンケートでは、講演について参加者の9割が「参考になった」、「おおむね実践できる」と前向きな回答であった。(保健所)				(保)	保健所	健康企画課	
	15	食生活改善推進員養成事業	食生活の地域改善活動推進の担い手である食のボランティアの食生活改善推進員を養成するため、所定のカリキュラムに基づく養成講座を実施しています。(各区保健センター)	1,2,3,4,5	推進員数	1,578	1,548	1,550	1,508		養成講座受講後のアンケートでは、食の知識を身につけることができ、「参考になった」と答えた人が約95%であった。高齢化による推進員の減少を防ぐために養成を行い、市民への食を通じたボランティア活動を継続する。(各区保健センター)				(保)	保健所	健康企画課	
				修了者数	168	139	169	151										
16	食生活改善地区組織活動の支援	食生活改善推進員が、健康づくりに役立つ調理実習等を含む講習会や食生活改善展などの活動をするための支援をしています。(保)保健所、各区保健センター)	1,2,3,4,5	食生活改善展	実施回数	20	20	24	20						(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	5,851	5,406	26,467	25,425									
					栄養講習会	実施回数	585	523	612	939								
					参加者数	23,399	25,938	26,965	31,705									
17	高齢者の食生活指針の啓発事業	管理栄養士が介護予防の観点から、65歳以上の方を対象とした「高齢者のための食生活指針」を作成し、食育の啓発に取り組んでいます。(保)保健所、各区保健センター)	1,2,5	啓発回数	91	76	68	79	介護予防センター・食生活改善推進員協議会と協働のすこやか食育支援事業において啓発(各区保健センター)	すこやか食育支援事業 実施回数 32回、参加者 684人 実施後のアンケートでは、これまで実践していなかった項目について、約6割の人が「これから始めようと思った」と回答し、食生活の改善意識の向上につながっている。(ゆっくりよくかんで食べる、毎日牛乳・乳製品をとる、毎食野菜を食べる等)(保健所)				(保)	保健所	健康企画課		
18	高齢者口腔機能向上・栄養改善教室(二次予防事業)	管理栄養士や歯科衛生士、看護師などの専門職員が、元気であるために必要な栄養・食事、食べることに欠かせない噛む力や飲み込む力を保つ方法について楽しく学ぶ教室を開催しています。(保)高齢保健福祉部)	5	実施回数	120	240	240	160	平成28年度末をもって本事業は終了。		平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	240	平成27年度達成済	(保)	高齢保健福祉部	介護保険課	
					参加者数	695	1,425	1,251	767									

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

基本要素2	身体活動・運動
取組方針	1 一人ひとりの状態に合わせた適切な運動に取り組む人を増やします 2 日常生活における歩数を増やします 3 運動習慣のある子どもを増やします 4 高齢者の日常生活における歩数を増やします 5 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っている人を増やします

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当				
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部
身体活動・運動	19	札幌市健康づくりセンター	医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康診断や体力測定などの結果を基に、生活・運動・栄養指導などを通じて、個人に合った健康づくりの実践を支援しています。(札幌市健康づくりセンター)	1・5	中央健康づくりセンター利用者数	86,510	110,133	85,184	113,211			各館の利用者については、業務水準を大きく上回っている。	札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	無	無	(保)	保健所	健康企画課	
					東健康づくりセンター利用者数	37,968	45,513	48,160	48,595							(保)	保健所	健康企画課	
					西健康づくりセンター利用者数	120,704	150,875	148,252	154,716										
	20	健康づくりサポーター等派遣事業	市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくりを目的とした地域の自主活動グループ等に健康づくりについて助言、指導を行うサポーターを派遣し、地域の健康づくりグループ等の主体的な活動を支援しています。(保)保健所、各区保健センター)	1,2,4	サポーター登録数	56	54	60	67					札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課
					サポーター派遣回数	64	69	100	103										
	21	ウォーキング実践指導ボランティア研修	健康づくりに取り組む市民を対象に、交流会及びウォーキング指導者としての知識や技術を学習する「ウォーキング実践指導ボランティア研修」を実施し活動を支援しています。(保)保健所)	1,2,4	参加者数	65	49	40	34	市民交流ウォーキング大会に従事するボランティアの育成という役割を終え、次年度以降は各区での開催など、内容を検討する。				札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課
	22	市民交流ウォーキング大会	平成20年度からウォーキング実践指導ボランティア研修受講者が中心となり全区のボランティアが協力して「市民交流ウォーキング大会」を年1回、開催しています。(保)保健所、各区保健センター)	1,2,4	参加者数	241	280	330	325	事業を開始して10年経過し、ウォーキングの普及に一定の効果があったとし、平成28年度で終了。				札幌市スポーツ推進計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課
	23	ウォーキング推進キャンペーン	運動習慣の定着を目指し、ウォーキングマップの作成、普及啓発等を通じ幅広い年齢層が気軽に楽しめるウォーキングを推進しています。(保)保健所)	1,2,3,4		ウオーキングマップの作成はH26年度で終了。								札幌市スポーツ推進計画			(保)	保健所	健康企画課
	24	若い世代の健康寿命の延伸に関する企画事業	「健康に関心が低いと考えられる若い世代」を重視する対象者と定め、若い世代の健康格差の縮小に向けて取り組効果的な啓発方法や仕組みづくりについて、調査し、事業を企画します。(保)保健所)	1		若い世代が利用するWEBサイトやSNSを通じ、普及啓発したことにより、新聞、ラジオ等のマスメディアにも取り上げられ、ダイエットモニターやサポーターへの反響も大きく、若い世代が健康づくりを身近に感じ、考えるきっかけとなったと考える。										(保)	保健所	健康企画課	
	25	転倒予防教室	高齢者の転倒を予防するため、介護予防センターで転倒を予防するための体操などの介護予防教室を開催しています。(介護予防センター)	1,2,4	実施回数	926	908	828	796	平成29年度より再編し、介護予防教室として統合。		平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			(保)	高齢保健福祉部	介護保険課
					参加者数	17,778	18,136	17,650	16,939										
	26	さっぽろウィンターキャンペーン	雪道転倒防止と札幌らしい冬の暮らし方を市民とともに考え、作り上げていくために、札幌市のほか、開発局やNPO法人、民間企業などで推進協議会を設置して、ホームページを作成し、イベントや教室などのさまざまなキャンペーン活動を行っています。(保)高齢保健福祉部)		イベント回数	平成24年度以降実績なし。計画予定もなし。										(保)	高齢保健福祉部	介護保険課	
					参加者数	平成24年度以降実績なし。計画予定もなし。													
27	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	1,2,4	健康教育(運動)	実施回数	77	73	154	155				さっぽろ医療計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	2,779	4,195	7,451	6,657										
28	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師・薬剤師・保健師・栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	5	健康教育(ロコモティブシンドローム)	実施回数	3	4	14	4				さっぽろ医療計画 札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	51	175	364	94										
29	介護予防教室(一次予防事業)	高齢者の閉じこもりを予防するため、介護予防センターが軽い体操や講話、交流会などの教室を開催しています。(介護予防センター)	1,2,4	実施回数	2,970	3,127	3,050	2,919			平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			(保)	高齢保健福祉部	介護保険課	
					参加者数	51,700	58,612	60,033	58,119										
30	すこやか倶楽部	高齢者を対象に、転倒予防や体力増進のための体操、各種レクリエーション、交流会などを地域やボランティアの協力のもと実施しています。(介護予防センター)	1,2,4	参加者数	35,792	40,822	42,594	42,700	平成29年度より再編し、介護予防教室として統合。		平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に再編	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護予防センターの設置箇所数 53カ所			(保)	高齢保健福祉部	介護保険課	
31	公園緑地や自然歩道、市民の森の利活用	身近な公園緑地における余暇活動や自然歩道、市民の森での散策ができる環境づくりを進めています。(建)みどりの推進部)	1		都市公園2,729箇所、自然歩道8ルート、市民の森6箇所を開放し、市民の余暇活動等に利用された。										(建)	みどりの推進部	みどりの推進課		

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課
身体活動・運動	32	公式ホームページの充実	スポーツをしている人をはじめ、これからしてみたいと思っている人やスポーツに興味のなかった人にとって、必要な情報を手に入れることができるように、利用者視点で内容の見直しを図ります。(札幌市スポーツ推進計画の計画期間で実施予定)(ス スポーツ部)	1							29年度、障がい者スポーツのご案内ページを新設	札幌市スポーツ推進計画	無		ス)	スポーツ部	企画事業課	
	33	地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」	体育振興会等の地域スポーツクラブの活動情報が検索できるインフォメーションシステムとして、さっぽろ地域スポーツ応援サイト「さぼスポネット」を積極的に活用し、地域スポーツクラブの活性化を図り、市民が身近な地域で気軽にスポーツ活動ができる環境をつくります。(ス スポーツ部)	1										ス)	スポーツ部	企画事業課		
	34	「ウォークさっぽろ」によるウォーキング情報の集約、発信	ウォーキングを通じて、市民がいつまでも元気であり続け、札幌が「歩きやすい街」「歩いて楽しい街」「歩きたくなる街」として、国内外に広く知られるようになることを目標として、公式ホームページ内で、各区のウォーキングマップや関連イベント等の情報を掲載します。(ス スポーツ部)	1.2								札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
	35	スポーツ推進委員の活動促進	スポーツ大会やイベントの実施にあたり、スポーツ推進委員を積極的に活用するとともに、研修の実施や研究協議会への参加等により企画・運営のスキルアップを図り、地域スポーツの活動を促進します。(ス スポーツ部)	1	委嘱人数 (3月31日現在)	260	260	256	257			札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
					研修実施回数	3	3	3	3									
	36	学校体育施設開放事業	学校教育に支障のない範囲で小中学校の体育施設(体育館、格技室、グラウンド、プール)を市民の皆様へ開放し、市民が自主的なスポーツ活動ができる環境をつくります。(ス スポーツ部)	1	体育館開放校数	283	283	282	282			札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
					グラウンド開放校数	53	38	38	38									
					利用者数(延べ数)	1,358,183	1,321,299	1,353,712	1,360,470									
	37	オリンピックスキャラン事業	オリンピック選手等を活用した体験会等を実施し、市民がスポーツをするきっかけづくりと町内会等の地域諸団体の活性化につなげます。(ス スポーツ部)	1	参加者数	816	884	1,470	1,730			札幌市スポーツ推進計画	1500	平成31年度	ス)	スポーツ部	企画事業課	
	38	地域スポーツにぎわい促進事業	「さっぽろ地域スポーツにぎわい促進委員会」を設置し、各地域におけるスポーツ活動の活性化に向けた、具体的な施策を検討します。(ス スポーツ部)	1								札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
	39	地域スポーツ指導者活用事業	地域のスポーツ指導者(ボランティア)を市立中学校のスキー学習等に派遣し、学校と地域が一体となって子どもの学びを支援する仕組みづくりを推進します。(ス スポーツ部)	1.3	人材リスト登録者数	15	18	64	82			平成27年度より事業名変更 札幌市まちづくり戦略ビジョン 札幌市スポーツ推進計画	200	平成31年度	ス)	スポーツ部	企画事業課	
	40	ウインタースポーツキャラバン	地域の公園等に用具や指導者を配置し、冬季に屋外で遊ぶ機会が減っている子どもたちに、雪遊びやウインタースポーツを体験する機会を提供し、ウインタースポーツに親しむ習慣づくりを行います。(ス スポーツ部)		実施会場数	9	2					平成26年度をもって事業終了(予算統合のため)	札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課
					参加者数	1,165	460											
41	アスリートによる出前授業～ようこそ！ユキセン～	小学校にウインタースポーツのアスリートを派遣し、アスリートとのふれあいやスポーツ体験により、子ども達のウインタースポーツへの興味関心を高め、日常化への契機とします。(ス スポーツ部)		参加者数	131	224					平成26年度をもって事業終了(予算統合のため)	札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
42	歩くスキー出前授業	歩くスキー授業を実施する学校を対象に、クロスカントリースキーの指導者を派遣し、子どもたちにウインタースポーツの楽しさや喜びを伝えることにより、ウインタースポーツに親しむ習慣を育てます。(ス スポーツ部)	1.3	実施校数	5	10	12	14				札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
				参加者数	459	782	934	1,019										
43	スポーツ少年団活動支援	青少年スポーツの技術力向上及び底辺拡大を図るとともに、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成を目的に活動している札幌市スポーツ少年団を支援するため、団体運営、各種事業の実施にあたり補助金を交付します。(ス スポーツ部)	1.3	補助金交付団体数 (4月1日現在)	360	304	293	284				札幌市スポーツ推進計画			ス)	スポーツ部	企画事業課	
				補助金交付団体所属人数 (4月1日現在)	7,531	5,305	5,297	5,155										

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

基本要素3	休養
取組方針	1 睡眠による休養を十分取れていない人を減らします 2 ストレスを感じている人を減らします 3 悩みを相談する人がいない人を減らします

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当				
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部
休 養	44	健康教育	各区保健センターでは、こころの健康、健康増進等に関して医師・保健師等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	1.2	健康教育 (休養)	実施回数	0	0	1	2						保)	保健所	健康企画課	
						参加者数	0	0	13	44									
	45	精神保健福祉相談	精神保健福祉に関する相談のうち、複雑・困難なものを行っており、心の健康相談から精神医療に係る相談、社会復帰相談をはじめ、思春期、ひきこもり、アルコール及び薬物関連問題などの特定相談を受けています。(札幌こころのセンター)	1.2.3	相談件数 (延べ数)	思春期	5	10	30	29		支援の狭間に陥りやすい思春期年代についての相談が増加傾向にあり、引き続き関係機関と役割分担、連携に努める。				保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター	
						ひきこもり	41	27	30	17									
							薬物問題	3	4	2	2								
							アルコール問題	7	8	7	6								
	46	心の健康相談(電話相談)	精神疾患や心の悩み、対人関係などでお困りの方や家族に対して、療養方法や日常生活の相談を行っています。(札幌こころのセンター)	1.2.3	相談件数	札幌こころのセンター	3,789	3,821	3,818	3,822					保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター 障がい福祉課		
						各区保健福祉部	9,916	10,153	11,766	12,735									
	47	精神科救急情報センター	夜間や休日に緊急の精神科医療を必要とする方からの電話相談を受け付け、病院との連携などのトリアージを行います。(札幌こころのセンター)	1.2.3	相談件数		4,073	4,151	4,306	4,168					保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター		
	48	ゲートキーパー研修	自殺問題に関心のある市民や、自殺のハイリスク層と関わる支援者等を対象に、悩んでいる人に気づき、声をかけ、傾聴し、必要な支援につなげて見守るというゲートキーパーの役割を担える人材を養成します。(札幌こころのセンター)	3	専門職対象	実施回数	5	5	5	5	平成28年度は、市民のより身近な地域や職場等において実践的な内容の研修を複数回開催した。				保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター		
					一般市民対象	参加者数	902	939	824	859									
						実施回数	1	1	1	1									
	49	かかりつけ医によるうつ病対応力向上研修	精神科医以外の医師・産業医を中心とした、かかりつけ医が地域でうつ病の早期発見・早期対応を行うために、うつ病診療の知識・技術及び精神科等の専門医との連携方法を習得する研修会を北海道、北海道医師会と共同主催にて実施しています。(札幌こころのセンター)	3	参加者数		129	159	142	144					保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター		

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

基本要素4	飲酒
取組方針	1 多量飲酒者を減らします 2 未成年・妊婦の飲酒をなくします

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局
飲酒	50	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	1.2	健康教育(飲酒)	実施回数	0	0	1	0						保)	保健所	健康企画課
	51	地域の自助グループや団体等との連携事業	総合的な自殺予防活動の支援を強化するために断酒会等と連携し、「自殺予防」や「アルコール依存症に関する正しい知識の普及等」をテーマとした講演会を開催しています。(札幌こころのセンター)	1	講演会開催回数		1	1	1	1						保)	障がい保健福祉部	精神保健福祉センター
	129(再掲)	思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として飲酒等に関する健康教育を行っています。(各区保健センター)	2	飲酒をテーマとした開催回数(学校数)		21	22	24	21						保)	保健所	健康企画課
	104(再掲)	妊婦支援相談事業	妊娠届出書の提出時に面接相談を実施し、支援が必要な妊婦に対して、家庭訪問等による継続支援を実施しています。(各区保健センター)	2	面接相談数		15,219	14,949	14,810	14,265						保)	保健所	健康企画課
					参加者数		1,852	1,724	1,938	1,751								
					飲酒等の指導実施数		2,792	2,760	2,420	2,225								

基本要素5	喫煙
取組方針	1 成人の喫煙率を減らします 2 受動喫煙の機会を有する人を減らします 3 COPD(慢性閉塞性肺疾患)を知っている人を増やします 4 未成年・妊婦の喫煙をなくします 5 妊婦や子どもの受動喫煙をなくします

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局
喫煙	52	受動喫煙防止対策ガイドラインの普及	市民、事業者、行政が一体となって受動喫煙防止対策に取り組むため、「札幌市受動喫煙防止対策ガイドライン(第二版)」を作成し、普及啓発を行っています。(保)保健所	2.5												保)	保健所	健康企画課
	53	ここから健康づくり応援団(禁煙・完全分煙施設)	「ここから健康づくり応援団」では、札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインに沿って、禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配付するとともに、札幌市公式ホームページ上に店舗名等を掲載しています。(保)保健所	2.5	禁煙・完全分煙施設登録数		630	666	817	848	健康増進法改正を見据えて、今後事業のあり方を検討する。	H28年度は、飲食店の新規登録件数が11件であった。(禁煙10、完全分煙1)				保)	保健所	健康企画課
	54	さっぽろMU煙デー推進事業	平成22年10月から毎月3日を「さっぽろMU煙デー」とし、喫煙者、非喫煙者を含む全ての市民を対象とする受動喫煙防止キャンペーンを実施しています。(保)保健所	1.2.4.5	イベント実施回数		8	9	6	8						保)	保健所	健康企画課
						参加者数		21,134	10,152	27,846	21,920							
	55	健康教育	各区保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	1.2.3.4.5	健康教育(たばこ)	実施回数	2	2	0	0						保)	保健所	健康企画課
						参加者数		143	57	0	0							
56	健康教育	各保健センターでは、生活習慣病の予防、健康増進等に関して医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等が健康教育を実施しています。(各区保健センター)	3	健康教育(慢性閉塞性肺疾患:COPD)	実施回数		1	0	0						保)	保健所	健康企画課	
					参加者数		25	0	0									
57	禁煙週間	世界禁煙デーに始まる禁煙週間に、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及啓発事業を実施しています。(保)保健所・各区保健センター	1.2.3.4.5													保)	保健所	健康企画課

基本要素7	健康行動
取組方針	1 特定健康診査、特定保健指導を受ける人を増やします 2 生活習慣病の重症化を予防します 3 がん検診を受ける人を増やします 4 かかりつけ医を持つ人・小児科救急医療機関を知っている人を増やします 5 定期予防接種を受ける子どもを増やします 6 インフルエンザの予防接種を受ける高齢者を増やします 7 HIVの早期発見に努めます

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当		
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)
健 康 行 動	66	札幌市国民健康保険特定健康診査	札幌市国民健康保険に加入している40歳以上を対象に、実施医療機関及び住民集団健診会場において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行っています。(指定の医療機関、北海道結核予防会)	1	受診者数	55,346	57,536	57,088	集計中			札幌市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画 札幌市国保データヘルス計画	35%	平成29年度	保)	保険医療部	国保健康推進担当課
					受診率	18.8%	19.7%	20.0%	集計中								
	67	札幌市国民健康保険特定保健指導	特定健康診査を受診した結果、生活習慣病発症の可能性が高いと判定された方を対象に、保健師や管理栄養士などによる特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援しています。(各区保健センター、各区役所、指定の特定保健指導実施機関)	1	受診者数	510	479	544	集計中			札幌市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画 札幌市国保データヘルス計画	20%	平成29年度	保)	保険医療部	国保健康推進担当課
					実施率	7.4%	6.8%	7.8%	集計中								
	68	女性のフレッシュ健診	職場等で健診を受ける機会のない18歳～39歳までの家庭の主婦、自営業の女性を対象とし、札幌市中央健康づくりセンターで健康診査を実施しています。(中央健康づくりセンター)	1・2	受診者数	1,172	997	863	714						保)	保健所	健康企画課
	69	胃がん検診	職場等であがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診、胃部X線撮影による胃がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	3	受診者数	39,634	38,600	39,458	36,674			札幌市がん対策推進プラン	40%(ただし別途受診実態調査にて算出する受診率に対して)	平成35年度	保)	保健所	健康企画課
					受診率	7.0%	6.9%	7.0%	6.5%								
	70	大腸がん検診	職場等であがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診、免疫便潜血検査2日法による大腸がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	3	受診者数	78,313	78,936	84,124	71,778			札幌市がん対策推進プラン	40%(ただし別途受診実態調査にて算出する受診率に対して)	平成35年度	保)	保健所	健康企画課
					受診率	13.9%	14.0%	14.9%	6.1%								
	71	子宮がん検診	職場等であがん検診を受ける機会のない20歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、子宮頸部細胞診(医師の判断により子宮体部の細胞診)、内診による子宮がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	3	受診者数	79,826	86,672	73,249	66,366			札幌市がん対策推進プラン	50%(ただし別途受診実態調査にて算出する受診率に対して)	平成35年度	保)	保健所	健康企画課
				受診率	32.7%	34.0%	32.6%	15.6%									
72	乳がん検診	職場等であがん検診を受ける機会のない40歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診、視診、触診、マンモグラフィ検査による乳がん検診を行っています。(北海道対がん協会、指定の医療機関)	3	受診者数	43,701	47,620	45,585	40,962			札幌市がん対策推進プラン	50%(ただし別途受診実態調査にて算出する受診率に対して)	平成35年度	保)	保健所	健康企画課	
				受診率	22.8%	23.8%	24.3%	13.0%									
73	肺がん検診	職場等であがん検診を受ける機会のない40歳以上の方を対象に、問診や胸部X線検査(問診の結果により喀痰細胞診)による肺がん検診を行っています。(北海道結核予防会 札幌複十字総合健診センター)	3	受診者数	14,838	16,412	17,546	17,353			札幌市がん対策推進プラン	40%(ただし別途受診実態調査にて算出する受診率に対して)	平成35年度	保)	保健所	健康企画課	
				受診率	2.6%	2.9%	3.1%	1.5%									
74	未来を守ろうプロジェクト	若い世代に子宮頸がんについて啓発するプロジェクトとして、学生のアイデアを取り入れた啓発活動を行っています。(保)保健所)	3	H28年度以降も、学生主体の活動を継続。						H28年度は、啓発媒体を活用し学生の言葉で子宮頸がんのリスクや検診の重要性に伝えるためのシナリオを作成。対象者の年代や特徴に合わせて、内容を変更し、より身近に感じてもらえるよう自身の検診体験を取り入れるなど、工夫し啓発活動を実施した。平成28年度以降の自主活動化に向け、メンバーの募集、リーダーの決定などを行い、組織化を進めた。				保)	保健所	健康企画課	
75	肝炎ウイルス検査	札幌市に在住している方でこれまでに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方を対象に、委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。(指定の医療機関)		受検者数	48,772	42,296	39,616	39,654							保)	保健所	感染症総合対策課
76	元気アップ応援事業	札幌市国民健康保険の特定健康診査を受けられた方で、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の治療中のため、特定保健指導の対象とならない方を対象に、疾病の改善・重症化予防を目的に保健指導を実施しています。(保)保険医療部)	2	実施回数	訪問・電話 423	372	473	288			札幌市国民健康保険医療費適正化計画	80	平成27年度	保)	保険医療部	国保健康推進担当課	
					実施人数	57	60	継続訪問19人 電話156人 合計175人	継続支援15人								

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当				
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課	
健 康 行 動	77	感染症予防対策	①感染症に関する正しい知識の普及: 感染症を予防するとともに、感染症患者に対する差別や偏見をなくすため、各種パンフレットや広報さっぽろのほか、マスコミ報道等を通して市民に感染症に関する正しい知識の普及に努めています。 ②結核・感染症発生動向調査: 結核及び感染症の患者発生数等を収集・分析の上、教育委員会、市医師会等に還元するなど、感染症流行予測と予防啓発に役立っています。また、主要感染症について札幌市分のデータに独自の分析・コメントを加え、市衛生研究所ホームページ上で公開しています。(保)保健所												保)	保健所	感染症総合対策課		
	78	感染拡大防止対策	患者が発生したとき、必要に応じて保健所が感染症指定医療機関への入院勧告や特定職種への就業を制限するなどの措置を行っています。また、患者及び接触者の健康診断を行うほか、疫学調査を実施し、原因究明と感染拡大防止を図っています。(保)保健所												保)	保健所	感染症総合対策課		
	79	感染症健康危機管理	感染症に関する健康危機発生時に市民の生命を守り、感染の拡大を防止するため、平成9年度に情報の収集、分析、対応策の決定などについての具体的な指針として「札幌市感染症健康危機管理実施要領」を策定し、危機のレベルに応じた対策を講じています。(保)保健所												保)	保健所	感染症総合対策課		
	80	性感染症予防事業	思春期ヘルスケア事業や大学・専門学校・PTA等を対象とした健康教育、医療機関との連携により、性感染症予防および治療に関する正しい知識の普及啓発を行っています。(保)保健所	7	127.129 参照							新・さっぽろ子ども未来プラン さっぽろ医療計画			保)	保健所	健康企画課		
	81	エイズ予防	①ポスター、パンフレット、リーフレットの作成や配付等による正しい知識の普及啓発を行っています。 ②保健所・各区保健センターでの相談窓口体制に加え、保健センターにおけるエイズ相談専用電話を実施しています。 ③世界エイズデー(12月1日)関連事業として、各種エイズ予防啓発事業を実施しています。 ④各区保健福祉部医師、看護師、保健師のカウンセリング研修等への参加を行っています。(保)保健所、各区保健センター	7	電話相談件数	220	140	79	49						保)	保健所	感染症総合対策課		
	82	HIV抗体検査	各区保健センターで毎月2回、匿名・無料のHIV抗体検査を実施しています。また、夜間HIV検査を毎月1回、休日HIV検査を年2回実施しています。さらに、民間に運営を委託した検査センターで土曜日検査を実施しています。(各区保健センター、指定検査センター)	7	受検者数	1,971	1,984	1,776	1,613						保)	保健所	感染症総合対策課		
	83	BCG接種事業	小児結核の予防のため、予防接種法に基づき生後5か月から8か月に達するまでの期間を標準的な接種期間としてBCG接種事業を実施しています。(各区保健センター)	5	接種者数	12,609	14,439	14,422	14,241				結核に関する特定 感染症予防指針 (国の指針)		95.0%	目標達成済	保)	保健所	感染症総合対策課
	84	結核の接触者健康診断	結核のまん延を防止するため、接触者等を対象として実施しています。(保)保健所		対象者数	3,119	5,157	5,174	4,244						保)	保健所	感染症総合対策課		
					受診率	98.1%	99.3%	96.3%	96.0%										
85	予防接種事業	感染症予防のため、予防接種法に基づいて、定期予防接種を実施しています。(対象となる疾病: ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、麻しん、風しん、日本脳炎、B型肝炎、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、結核[BCG]) (指定医療機関、BCGは各区保健センター)	5	麻しん風しん 混合(MR) 接種率	I期	94.9%	99.4%	97.2%	97.1%					保)	保健所	感染症総合対策課			
					II期	92.2%	92.1%	90.0%	90.5%										
86	高齢者インフルエンザ予防接種事業	65歳以上の高齢者、または60～64歳の方で、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいを持つ方(障害等級1級またはそれに準じる方)を対象に、市内の委託医療機関でインフルエンザの予防接種を実施しています。(指定の医療機関)	6	接種者数	209,754	222,737	219,977	229,478						保)	保健所	感染症総合対策課			

基本要素8	親子の健康
取組方針	1 妊娠11週までの届け出数を増やし、妊娠、出産に不安や心配がある妊婦を減らします 2 妊娠初期の妊婦一般健康診査を受ける人を増やします 3 低出生体重児が生まれる要因について正しい知識を持つ人を増やします 4 安心して育児ができる母親を増やします 5 乳児のSIDS(乳幼児突然死症候群)による死亡を減らします 6 不慮の事故による乳幼児の死亡を減らします 7 児童虐待を予防します 8 10歳代の望まない妊娠を防ぐために、避妊法に関する正しい知識を持つ人を増やします 9 性感染症に関する正しい知識を持つ人を増やします 10 薬物に関する正しい知識を持つ人を増やします

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当								
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課			
親子の健康	87	妊婦一般健康診査	妊婦を対象として、「より安全で安心な出産」を迎えるために、公費負担により、14回の健康診査を実施しています。(保)保健所	2,3,4	受診者数(延べ数)	172,311	174,883	173,306	166,286			新・さっぽろ子ども未来プラン			(保)	保健所	健康企画課						
	88	妊婦甲状腺機能検査	妊婦を対象として、甲状腺機能異常の早期発見、早期治療を図るため、血液によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	4	検査人数	9,548	9,540	9,375	9,020			新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率70.0%	31年度	(保)	衛生研究所	保健科学課						
	89	母子健康手帳の交付	妊娠届出書を提出した妊婦に対して、各区保健センターで交付しています。(各区保健センター)	1	人数	15,259	15,203	14,902	14,354						(保)	保健所	健康企画課						
	90	初妊婦訪問事業	初妊婦全員を対象として、妊娠期間中に保健師や母子保健訪問指導員が各家庭に訪問指導を実施し、妊娠中から出産・育児のイメージを持ち、安心して出産、育児ができるよう支援する。(各区保健センター)	3,4,7	件数			935	2,612			新・さっぽろ子ども未来プラン			(保)	保健所	健康企画課						
	91	産後ケア事業【新規】	生後4か月未満のお子さんがおり、家族等から十分な援助が得られず、かつ心身の不調または育児不安等がある産婦を対象に、市内の助産所において、宿泊または日帰り休養の機会を提供し、母子の健康管理や育児に関する助言指導を行う。	4,7	件数				180			新・さっぽろ子ども未来プラン	80	H31年度	(保)	保健所	健康企画課						
	92	母親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。(各区保健センター)	1,3,5,6,7	開催回数	405	327	298	289							(保)	保健所	健康企画課					
					参加者数(延べ数)	7,909	6,107	5,210	4,811														
	93	両親教室・父親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関し、主に父親の役割を中心に保健指導を実施しています。(各区保健センター)	1,3,5,6,7	開催回数	39	34	38	41							(保)	保健所	健康企画課					
					参加者数(延べ数)	2,646	2,326	2,670	2,657														
	94	ワーキング・マタニティスクール	働きながら出産・育児をする初妊婦およびその配偶者を対象として、働きながら妊娠、出産、育児等をするために必要な保健指導等を実施しています。(保)保健所	1,3,5,6,7	開催回数	6	6	6	6	スクールの先輩/ババママが講師となり、参加者の知りたい情報や体験談を講話に入れ込んだ。	参加動機や参加して良かったことに多く書かれるようになり、参加者の増加につながった。					(保)	保健所	健康企画課					
					参加者数	294	388	284	357														
	95	離乳期講習会	乳児の母親を対象として、離乳に関する保健指導を実施しています。(各区保健センター)	4	実施回数	215	227	217	214			実施後のアンケートでは、「参考になった」と回答した人が98%を超えている。また、講習会参加前は「自信があった」人が2割に満たないが、参加後は「自信が持てた」と回答した人が9割以上に増加。(各区保健センター)			(保)	保健所	健康企画課						
96	育児教室	乳幼児と母親を対象に、子どもの発育、発達に応じた育児の保健指導や情報交換を行っています。(各区保健センター)	4,5,6,7	開催回数	439	353	401	396							(保)	保健所	健康企画課						
				参加者数	15,407	12,117	14,377	14,090															
97	子育てサロン	子育て家庭が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる「子育てサロン」の設置を進めています。地域の関係者により運営されている地域主体の子育てサロン、児童会館等での子育てサロンに加え、週3回開催の常設子育てサロンの設置を進め、社会全体で子育て家庭を支えるまちづくりを推進しています。(子)子育て支援部 ※設置数は、年度末時点のもの	4,7	①地域主体の子育てサロン	設置数	175	173	170	168														
					開催回数	3,236	2,788	2,820	2,788														
					利用者数(延べ数)	117,914	107,063	97,013	92,545														
					②常設子育てサロン	設置数	51	63	74	76													
						開催回数	4,295	7,343	9,503	9,803													
						利用者数(延べ数)	150,776	150,352	309,815	332,738													
						③公設の子育てサロン(子育て支援総合センター、区保育・子育て支援センター)	設置数	8	8	9	9												
							開催回数	2,494	2,494	2,808	2,799												
							利用者数(延べ数)	144,900	155,117	171,446	182,325												
							④児童会館の子育てサロン※児童会館での常設子育てサロン18箇所を含む	設置数	100	100	100	100											
								開催回数	5,951	6,705	8,198	8,954											
								利用者数(延べ数)	264,295	284,972	311,469	331,356											

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当																	
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課												
親子の健康	98	子育て講座	子育てに必要な情報を提供したり、乳幼児の心身の発達や親子のかかわりなどについて学ぶ機会を提供しています。(子)子育て支援部	4.7	子育て支援総合センター	開催回数 32	32	33	32	区保育・子育て支援センターはH27.4月にちあふる・みなみが開設され計8か所。 H27より、区保育・子育て支援センターと区子育て支援係の一元化体制により、次世代育成支援事業、講座については合算している。	区保育・子育て支援センターはH27.4月にちあふる・みなみが開設され計8か所。	子)	子育て支援部	子育て支援総合センター	区保育・子育て支援センター(7か所)	開催回数 115	107	区子育て支援係に合算	子)	子育て支援部	子育て支援総合センター											
	利用者数(延べ数)	1,107	1,134	1,006	1,113	区子育て支援係(10区)	開催回数 50	45	275						354																	
		2,860	2,656	8,976	12,133		区保育・子育て支援センターに合算	子育て支援総合センター	開催回数 724						662	792																
	99	子育て相談	子育てや子どもの成長発達における心配事や悩み事などの相談について、電話または面談により行っています。(子)子育て支援部	4.7	相談件数	2,393	2,456	3,353	3,193						区保育・子育て支援センターに合算	H27より、区保育・子育て支援センターと区子育て支援係の一元化体制により、次世代育成支援事業、講座については合算している。	子)	子育て支援部				子育て支援総合センター										
	区子育て支援係(10区)	1,053	1,208	区子育て支援係に合算	子育て支援総合センター	開催回数 116	172	116	144																							
		参加者数 1,425	1,567		1,147	1,491																										
	区保育・子育て支援センター(7か所)	開催回数 752	789	区子育て支援係に合算	参加者数 3,489	3,604	11,376	9,087																								
		区子育て支援係(10区)	開催回数 265	248	440	378	参加者数 12,382	12,445																								
	101	出前子育て相談ピンポーンこんにちは	家庭訪問による相談を希望する子育て家庭に、子どもへのかかわり、具体的な遊び方や情報提供を行っています。(子)子育て支援部	4.7	区子育て支援係(10区)	35	32	26	39														平成28年10月より、対応時間を毎日午後7時から翌午前9時までに延長	さっぽろ医療計画	子)	子育て支援部	子育て支援総合センター					
	102	女性の健康支援相談	妊婦、産婦を含む、思春期から更年期に至る女性を対象に、妊娠・出産・産後の健康相談、育児相談、家族計画、性や性感染症、不妊、更年期障害など女性の心身に関する相談を行っています。(各区保健センター)	1,3,7,8,9,10	開催回数	144	144	144	144																			50%	平成29年度	保)	保健所	健康企画課
					参加者数	53	147	52	72																							
	103	保健センターでの電話相談	妊娠・出産・産後の健康相談、育児やお子さんの健康に関する相談などについて、電話相談を行っています。(各区保健センター)	4	電話相談	18,628	14,373	19,377	19,586																			平成28年10月より、対応時間を毎日午後7時から翌午前9時までに延長	さっぽろ医療計画	保)	保健所	健康企画課
104	妊婦支援相談事業	妊娠届出書の提出時に面接相談を実施し、支援が必要な妊婦に対して、家庭訪問等による継続支援を実施しています。(各区保健センター)	4.7	面接相談数	15,219	14,949	14,810	14,265	50%	平成29年度	保)	保健所	健康企画課																			
				継続支援実施数	890	830	887	972																								
105	札幌市産婦人科救急電話相談	夜間の急な産婦人科系疾患について、毎日午後7時から翌午前9時までの間、助産師等が電話で相談を受け、必要に応じて医療機関への搬送調整を行っています。(保)保健所	4	電話相談件数	1,565	1,513	1,384	1,463	50%	平成29年度	保)	保健所	医療政策課																			
				市民認知度	未調査	10.5%	未調査	7.0%																								
106	新生児マススクリーニング検査	新生児を対象として、先天性代謝異常等の早期発見、早期治療を図るため出生した市内の医療機関で採血し、市衛生研究所で検査を実施しています。(保)衛生研究所	4	受検者数	16,360	16,465	16,474	15,877	平成28年10月より、対応時間を毎日午後7時から翌午前9時までに延長	さっぽろ医療計画	保)	衛生研究所	保健科学課																			
107	神経芽腫スクリーニング検査	1歳6か月児を対象として、神経芽腫の早期発見、早期治療を図るため尿によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	4	受検者数	9,953	9,752	9,547	8,052						28年度限りで事業を休止した	新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率 70.0%	31年度	保)	衛生研究所	保健科学課												
				108	胆道閉鎖症検査	1か月児を対象として、胆道閉鎖症の早期発見、早期治療を図るため、便色調によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。(保)衛生研究所	4	受検者数													13,951	14,310										
109	4か月児健康診査	4か月児を対象として、健全育成と疾病等の早期発見を図るため健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)	4.5,6,7	受診者数	14,465	14,458	14,301	14,144						28年度限りで事業を休止した	新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率 100.0%	31年度	保)	保健所	健康企画課												
110	1歳6か月児健康診査	乳児から幼児への移行期にあたり、身体・精神および行動発達状況をチェックするとともに、育児指導、歯科健診を実施しています。(各区保健センター)	4.5,6,7	受診者数	14,106	14,133	13,983	14,292													28年度限りで事業を休止した	新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率 100.0%	31年度	保)	保健所	健康企画課					
111	3歳児健康診査	幼児期における身体および精神の発達状況をチェックするとともに歯科健診、保健指導を実施しています。(各区保健センター)	4.5,6,7	受診者数	13,945	13,956	13,740	13,999						28年度限りで事業を休止した	新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率 100.0%	31年度	保)	保健所	健康企画課												
112	5歳児健康診査・5歳児発達相談	5歳児を対象として、発育・発達の確認や育児支援、就学に向けた準備への支援等を行うため健康診査・発達相談を実施しています。(各区保健センター)	4.5,6,7	受診者数		380	618	673													28年度限りで事業を休止した	新・さっぽろ子ども未来プラン	受検率 100.0%	31年度	保)	保健所	健康企画課					
				相談者数		226	546	614																								

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度				平成28年度	平成28年度	平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局
親子の健康	113	乳幼児健康診査	健全育成を図るため、10か月児および経過観察を要する乳幼児に対し、健康診査と保健指導を実施しています。(各区保健センター)	4.5.6.7	受診者数	13,447	13,796	14,081	13,865							保)	保健所	健康企画課
	114	乳児・1歳6か月児・3歳児・5歳児精密健康診査	乳児・1歳6か月児・3歳児及び5歳児健康診査の結果、精密健診を要する児に対し、市内の医療機関に委託し、実施しています。(指定医療機関)	4.5.6.7	受診者数	2,286	2,354	2,805	3,234							保)	保健所	健康企画課
	115	母子保健訪問指導	妊産婦、未熟児、新生児等を対象として、各区保健センター職員及び母子保健訪問指導員により家庭訪問を行い、必要な保健指導を実施しています。(各区保健センター)	4.5.6.7	指導件数	妊産婦 4,060 未熟児 1,256	15,036 3,782 1,133	15,003 3,787 1,157	15,349 3,969 1,193							保)	保健所	健康企画課 新・さっぽろ子ども未来プラン 第3次男女共同参画さっぽろプラン
	116	乳幼児精神発達相談	言語・情緒発達に心配のある乳幼児とその親に対し、子どもの発育・発達を促すとともに、良好な親子関係の構築と育児不安の軽減を図るため、各区保健センターにおいて個別の発達相談を行っています。(各区保健センター)	4	相談件数(延べ数)	2,230	2,261	2,257	2,216							保)	保健所	健康企画課 新・さっぽろ子ども未来プラン
	117	保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業(育児支援家庭訪問事業)	市内の医療機関において、「育児支援が必要」と判断された親子に対し、医療機関と各区の保健センターが連携を図りながら育児不安の軽減および児童虐待発生予防のために家庭訪問等による育児支援を行っています。(各区保健センター)	4.7	実施件数	850	865	903	933							保)	保健所	健康企画課 新・さっぽろ子ども未来プラン さっぽろ医療計画
	118	小児慢性特定疾病児童等療育相談支援事業	慢性疾病にかかっていることにより長期療養を必要としている子どもやその家族に対し、療養上や日常生活上の悩みや不安などについての相談や助言、福祉サービスなどの情報提供を行っています。(各区保健センター)	4	相談件数	141	138	211	312							保)	保健所	健康企画課
	119	札幌市要保護児童対策地域協議会	児童虐待予防・防止に関して活動している関係機関を集め、情報の共有化、事例検討等を行い、連携の強化を図っています。(子)児童相談所	7	開催回数	1	1	1	1							子)	児童相談所	地域連携課 新さっぽろ子ども未来プラン
	120	区要保護児童対策地域協議会	各区健康・子ども課家庭児童相談室において、児童虐待予防・防止、早期発見および虐待事例への円滑な支援を行う地域ネットワークを構築するため、関係機関代表者による連絡調整会議、事例検討会、研修会等を行っています。(各区保健センター)	7	開催回数	235	245	174	256							子)	児童相談所	地域連携課 新さっぽろ子ども未来プラン
	121	オレンジリボン地域協力員養成事業	児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年育成委員、一般市民等を対象に研修会を開催し、オレンジリボン地域協力員の養成を行っています。(子)児童相談所	7	研修会実施回数 新規登録者数 実数	51 1,326 12,549	33 1,076 13,625	27 639 14,264	27 1,021 15,285							子)	児童相談所	地域連携課 新さっぽろ子ども未来プラン・アクションプラン 18,000人 平成31年度
	122	夜間急病センター事業	夜間(午後7時から翌朝午前7時の間)の急病患者の応急処置を行っています。小児科においては、患者の集中する土・日・祝日・年末年始の準夜帯(午後7時から午前0時までの間)に医師を増員するなど、診療面を強化しています。 《夜間急病センター》住所:札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 1階	4		(この欄は斜線が入っています)					受診者数:44,105人					保)	保健所	医療政策課 さっぽろ医療計画
	123	休日救急当番運営事業・二次救急医療機関運営事業	土日祝日などの休日における初期救急医療体制や、より大きなけがや病気の際に休日及び夜間に対応する二次救急医療機関の調整を行い、市民が安心して生活できる確実な救急医療体制の整備を行っています。(保)保健所	4		(この欄は斜線が入っています)					初期救急参画:553医療機関(延べ) 二次救急参画:103医療機関(延べ)					保)	保健所	医療政策課 さっぽろ医療計画
	124	さっぽろ・こども広場	保健センターから紹介された発達の気にかかる子どもに対して、保健センターや児童会館などの地域の会場で月1回または週1回、専門スタッフ(保育士・心理療法士)が小集団での遊びを通して子どもの発達を促し、保護者の悩みや相談に応じています。また、保護者に必要な情報を提供し、個々の子どもの適切な進路をともに考えています。(子)児童相談所	4.7	出席者数(実数) 出席者数(延べ数)	1,276 8,976	1,395 8,886	1,756 9,204	1,636 8,672							子)	児童相談所	地域連携課
	125	幼児教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を来所および電話で行っています。(市幼児教育センター)	4.7	来所相談件数 電話相談件数	1,284 2,040	1,270 1,958	1,346 2,128	1,498 2,222							教)	児童生徒担当部	幼児教育センター担当課 札幌市教育振興基本計画
	126	教育相談	不登校や特別支援教育に関わる教育相談を来所および電話で行っています。(市教育センター)	4.7	来所相談件数 電話相談件数	4,555 1,828	3,430 2,443	3,390 3,064	3,100 3,367							教)	児童生徒担当部	教育相談担当課 札幌市教育振興基本計画

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	取組方針	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当			
					項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課
親子の健康	127	教育支援センター設置事業	学校に通うことが難しい子どもに対応するため、学校以外の場における子ども支援のあり方を調査研究し、子どもが抱えている不安や悩み等を和らげる居場所を設置します。(平成23年度から平成26年度に実施。平成25、26年度に1か所ずつ、計2か所に設置予定)(教)学校教育部)	4.7	教育支援センターの ・見学件数 ・体験人数 ・通室登録人数 ・状況改善率	・見学件数 117件 ・体験件数 67件 ・通室登録数 42件 ・状況改善率 38%	・見学件数 142件 ・体験件数 92件 ・通室登録数 67件 ・状況改善率 46%	・見学件数 103件 ・体験件数 78件 ・通室登録数 66件 ・状況改善率 50%	・見学件数 137件 ・体験件数 92件 ・通室登録数 91件 ・状況改善率 63%			札幌市教育振興基本計画	状況改善率 50%	平成31年度	教)	児童生徒担当部	教育相談担当課	
	128	ポロップひろば(未就学児の子育て広場)	各区市立幼稚園にて、就学前の子ども(主に2～6歳児)と保護者を対象にした子育て広場。月1～2回(開催日、開催時間は各幼稚園ごとに違う)園庭や園舎で親子で遊ぶことができ、その中で子どもとのかかわり方や就園、就学に向けた教育相談も行っています。(平成24年度開始)(教)学校教育部)	4.7	参加者数	6,828	5,654	5,949	6,216			札幌市教育振興基本計画			教)	児童生徒担当部	幼児教育センター担当課	
	129	思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として性(生命)や性感染症等に関する健康教育を行っています。(各区保健センター)	8.9.10	実施回数	117	131	152	140	小・中・高校の児童生徒だけでなく親世代(PTA、家庭教育学級)に向けた性教育を実施した。	PTA協議会及び家庭教育学級申込申込は6校 参加人数は85名	新・さっぽろ子ども未来プラン さっぽろ医療計画	10代の人工妊娠中絶実施率(人口千対)11人	平成31年度	保)	保健所	健康企画課	
					参加者数	13,285	14,495	16,458	16,677									
	130	思春期・婚前健康教育等	家族計画、母性保護等について正しい知識の普及指導をしています。(各区保健センター)	8.9.10	開催回数	7	2	4	4							保)	保健所	健康企画課
					参加者数	408	183	508	317									保)
	131	若者の性の健康相談	10～20歳代の方を対象に、性や性感染症・避妊等の悩みについて各区保健センターで相談を行っています。また、性感染症や避妊に関するパンフレットを市内の医療機関に送付し、指導や相談に活用するよう啓発しています。(保)保健所、各区保健センター)	8.9.10	医療機関相談件数	6,742	13,075	12,610	13,425	医療機関だけではなく、大学や専門学校、思春期教育を行っている機関に送付し、指導や相談に活用してもらった。	大学・短期大学・専門学校の送付数: 5,726枚 その他思春期保健に関する機関送付数: 9434枚	新・札幌子ども未来プラン さっぽろ医療計画	10代の人工妊娠中絶実施率(人口千対)11人	平成31年度	保)	保健所	健康企画課	
					保健センター相談件数	165	86	61	32									
	132	少年育成指導員による巡回・相談	喫煙や怠学など子どもの問題に対応するため、繁華街や商業施設等を巡回して声かけや指導等を行うとともに、悩みを抱えている子への相談にも対応するなど、青少年の健全育成や非行化防止に向けた取組を行っています。(子)子ども育成部)		巡回指導件数	7,377	6,992	6,028	5,968			新・さっぽろ子ども未来プラン				子)	子ども育成部	子どもの権利推進課
					相談件数	32	36	35	34									
133	子どもの権利救済機関(子どもアシストセンター)	いじめなどの子どもに関する相談に幅広く応じるとともに、権利侵害からの救済の申し立て等に基づき、公的第三者の立場で、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行います。(子どもアシストセンター)		相談件数(実数)	1,035	1,046	1,000	833			新・さっぽろ子ども未来プラン 札幌市地域福祉社会計画 さっぽろ障がい者プラン 第2次札幌市自殺総合対策行動計画				子)	子どもの権利救済事務局	子どもの権利救済事務局	
				相談件数(延べ数)	3,247	3,713	4,074	3,515										
134	幼児の地域教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩み、小学校入学などに関する教育相談を市立幼稚園・認定こども園を会場に、来所および電話で行っています。(市立幼稚園・認定こども園)	4.7	来所相談件数	2,545	2,894	3,224	3,554			札幌市教育振興基本計画				教)	児童生徒担当部	幼児教育センター担当課	
				電話相談件数	457	277	1,474	1,805										

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当		
				項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部
健康を支え守るための社会環境の整備	135	地域保健活動推進事業	市民が安心して、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう保健師による地域保健活動の充実を図り、地域が主体となった自主的な健康づくり活動を推進するとともに地域特性に応じた見守り体制の整備など、地域における個別支援のネットワークを構築します。(保)保健所					平成28年度で事業終了。同じ年度、事業で得られた取組結果を活用し、健康なまちづくりを推進する、「地域の保健福祉課題に応じた健康なまちづくり推進事業」を開始。	先行地区の健康課題に応じて、住民や関係機関と協働で健康課題に取り組んでいる。		札幌市地域福祉社会計画			(保)	保健所	健康企画課
	136	札幌圏域地域・職域連携推進連絡会札幌部会	地域保健と職域保健の連携により、健康づくりのための健康情報の共有や保健事業の共同実施、さらに健康づくりに関する社会資源の相互活用を行い、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備し、生活習慣病予防対策を推進します。(保)保健所											(保)	保健所	健康企画課
	137	健康づくりネットワーク促進	地域の健康づくり自主活動グループなどで構成される各区の健康づくり組織の活動活性化やネットワーク化を支援するために、各区保健センターでの研修等を開催しています。(各区保健センター)						健康づくり協議会等を設置している区は、10区中9区。設置していない区も、設置に向けて健康づくりイベントの実行委員会を活用し、進めている。自主活動グループが情報交換し、健康づくりを推進する上での課題発掘の場となっている。		札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			(保)	保健所	健康企画課
	138	健康なまちづくりフォーラムinさっぽろ	「市民との協働による健康なまちづくり」を推進するため、各区で健康づくり活動に取り組む市民が一堂に会し、各区の先駆的取組の実践報告や札幌市の健康づくりの方針を共有し、住民主体の健康づくり活動の継続と活性化を推進します。(保)保健所					若い世代を対象とした内容を検討。若い世代に健康づくり活動を普及することにより、住民主体の健康づくり活動の拡大を目指す。	ノルディックウォーキングに関する医師による講演と実技、各区で健康づくり活動に取り組む市民からの報告のほか、健康づくりを支える企業からの実践報告やパネル展示を行った。参加者の満足度は高く、特に健康づくりをがんばろうと思ったという声もあり、活動の継続、活性化への機運を高めることにつながっている。		健康さっぽろ21(第2次)			(保)	保健所	健康企画課
	139	健康さっぽろ21の推進に関する包括的連携協定事業	市民の健康づくりを支える環境の整備のために、企業・団体との連携による効果的な普及啓発を行い、市民の健康増進を図ります。(保)保健所						協定締結企業・団体:14社 企業・団体のネットワークや媒体を生かし、幅広い世代への普及啓発を実施している。		健康さっぽろ21(第2次)			(保)	保健所	健康企画課
	140	さっぽろ医療ガイド	市民に札幌市の医療体制を周知し、医療に関する相談窓口などを案内する「さっぽろ医療ガイド」を発行しています。(保)保健所	さっぽろ医療ガイドの普及度	未調査	未調査	未調査	0.3%	○出前講座、いきいき健康福祉フェア等で配布 ○平成29年度改訂予定		さっぽろ医療計画	50%	平成29年度	(保)	保健所	医療政策課
	141	医療アドバイザー制度	医療機関のかかり方など、市民の医療に関する相談ニーズに対応するため、専門家等を医療アドバイザーとして登録し、地域における学習会などに派遣します(平成26年度までに実施)。(保)保健所	医療アドバイザー登録数	制度未運用	10人	10人 1団体	10人 2団体	(一社)札幌歯科医師会を医療アドバイザーに団体登録	派遣依頼:16件 参加人数:延べ525人	さっぽろ医療計画	10人	平成26年度 目標達成済	(保)	保健所	医療政策課
	142	救急安心センターさっぽろ	急な病気やけがなどで、病院に行くべきか救急車を呼ぶべきか迷った時、看護師が電話で医療相談を行ったり、診療時間中の医療機関の案内を24時間365日行う「救急安心センターさっぽろ」を運営しています。(保)保健所	連携自治体数	0	2	3	4	平成28年4月より島牧村が加入、平成28年10月より三者通話による外国語対応(6か国語)を開始	相談件数:46,106件 (うち、救急医療相談:27,580件、医療機関案内:10,234件)	さっぽろ医療計画	8	平成29年度	(保)	保健所	医療政策課
				市民認知度	未調査	43%	未調査	33%			50%	平成29年度				
	143	医療安全相談窓口の運営	既存の医療安全相談窓口を充実し、医療安全に関する市民への情報提供や相談機能、普及啓発を強化します。(保)保健所	相談件数	1,637	1,894	2,155	2,089		相談対応に対する納得度は、「納得した」「おおむね納得した」を合わせ90.3%であり、約9割の相談者から対応に納得いただけている。	さっぽろ医療計画			(保)	保健所	医療政策課
				医療相談窓口の認知度	未調査	8.9%	未調査	8.3%			50%	平成29年度				
	144	薬物乱用防止の推進	薬物の危険性や乱用の防止等に関して市民に向けた啓発を行います。市独自の事業のほか、関係団体とも連携し、広範に普及啓発を行います。(保)保健所					○区役所交付番号呼出しシステム、地下歩行空間大型ビジョン、4プラ大型ビジョンでの危険ドラッグ乱用防止啓発 ○地下鉄駅掲示板への危険ドラッグ乱用防止啓発ポスター掲示(年2回) ○ラジオ番組での危険ドラッグ乱用防止啓発情報への取材対応 ○インターネットを用いた薬物乱用防止の啓発			さっぽろ医療計画	無		(保)	保健所	医療政策課
	145	食の安全確保対策	①食の安全を確保するため、年度ごとに市民等の意見を取り入れた「札幌市食品衛生監視指導計画」を策定し、効率的かつ重点的な立入検査や衛生講習会等を行っています。 ②食品衛生パネル展や食中毒予防に関するパンフレット等により市民に対し正しい食品衛生知識の普及啓発を行っています。 ③食の安全・安心市民交流事業の開催等により、市民や食品事業者と食の安全確保に関する情報や意見の交換を行っています。(保)保健所											(保)	保健所	食の安全推進課

「健康さっぽろ21(第二次)」事業調書(平成25年度～平成28年度)

要素	事業No	関連する事業等	関連する事業等の概要	実績				その他特筆する実施事項 今後の方向性	事業実施による成果 市民・企業の反応 指標の評価	備考	その他関連計画			担当															
				項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度		平成28年度	計画名	目標値	目標達成 予定年(年度)	局	部	課												
146	環境衛生対策	建築物や環境衛生関係施設(公衆浴場、理・美容所など)の衛生状態の維持・向上を図るため、年度ごとに事業計画を策定し、立入検査等を行っています。また、住まいの衛生を含めた環境衛生に関する市民相談や普及啓発事業に取り組んでいます。(保)保健所)	環境衛生営業施設等への監視指導件数	3,289	3,322	3,058	2,575																						
			住まいの衛生展等開催件数	14	14	13	12																						
			環境衛生関係相談件数	4,104	3,960	3,543	3,224																						
	札幌市公共建築物シックハウス対策	札幌市の公共建築物の管理に携わる職員等に対し、「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」の遵守を徹底するとともに、同指針に関する説明会や研修を毎年実施しています。(保)保健所)	説明会・研修開催回数	3	2	2	2												参加者からのアンケート結果では、内容をおおむね理解できた旨の回答が得られている。										
			参加者数	152	125	124	131																						
			食品衛生関係相談件数	2,651	1,838	2,092	2,032																						
148	市民相談事業	保健所では、家庭、地域等における食の安全等や良好な生活環境を確保するため、種々の市民相談を実施しています。(保)保健所)	環境衛生関係相談件数(再掲)	4,104	3,960	3,543	3,224																						
			環境衛生関係相談件数(再掲)	4,104	3,960	3,543	3,224																						